

辰野町議会第13回議会報告会概要（全体会議）

実施期日 平成30年11月16日（金） PM6：30開会
実施場所 辰野町役場第6号会議室
出席者 62名（町民48名、議員14名） 前回町民60名
司会進行 篠平議会報告会副実行委員長

1. 実行委員長あいさつ 堀内議会報告会実行委員長

2. 議長あいさつ 岩田議長

3. 議会活動報告内容

第12回報告会（平成30年5月18日）以降の活動状況中心に報告

内容 6月、9月定例会、臨時議会（8/6・10/17・11/5）の議案や陳情審査、町長への要望事項、各常任委員会等での活動状況等の報告

説明者 総務産業常任委員会関係 熊谷委員長から報告

福祉教育常任委員長関係 垣内委員長から報告

議会広報委員会関係 向山委員長から報告

議会あり方検討委員会関係 宇治委員長から報告

（報告内容は、第13回議会報告会提出資料参照）

質疑応答 なし

4. 分科会（意見交換会）会場及びテーマ

1) 総務産業常任委員会

テーマ「地域の防災対策」

あなたの感じる不安なこと

2) 福祉教育常任委員会

テーマ「辰野町の医療について考える」

辰野病院の現状について

上伊那医療圏の現状について

分科会 1 総務産業常任委員会

○テーマ「地域の防災対策」

あなたの感じている不安について意見交換

(記録：瀬戸議員)

- 1 日時 平成30年11月16日(金) 午後7時30分～午後8時40分
- 2 場所 辰野町役場第6会議室
- 3 参加者 住民33名、総務産業常任委員、事務局
- 4 分科会の次第 進行 小澤副委員長
 - ①あいさつ テーマ等趣旨及び経過報告(熊谷委員長)
 - ②意見交換
 - ③閉会の言葉(岩田議長)

○熊谷委員長

6月の大阪の地震、7月の豪雨、9月の北海道地震、夏場の選後一番の猛暑など多くの災害が多発した。停電の被害が今回は町内でも出た。復旧に手間取っていることが問題だと思う。今日は地域の防災対策で思っていること等を話してほしい。

テーマ等趣旨及び経過報告、資料説明。避難時の心得非常時持出品チェックを行った。今年の9月の防災訓練時の様子なども発言していただきたい。

【意見交換】

①新町区 N氏

新町区では、以前より町に避難所開設訓練指導をお願いしていたが、できないといわれたので、防災士の指導を受け今年初めて避難所設置訓練を行った。区で考えていた人数より少なく役員だけ集まった。避難所の受け入れ態勢や部屋割りを行い、考えていたよりも、大事だと思えることが違っていたなどやって良かった。一時避難、二時避難の訓練をやるべきだと感じた。

避難所開設訓練はやって行かなければならないと思う。

②小横川区 K氏

避難に対する呼びかけの方法を検討してほしい。行政無線は聞き取れない。消防車に拡声器がついている、難聴地域には有効な呼びかけだと思う。

③古村消防団長

広報車を使用は定められている。雨天では広報は聞き取りづらく消防車は有効だと思う。また、告知システムやメール配信など、情報を自分でとりに行く準備は大切だと思う。

④上辰野区

水害を想定した操法訓練をここなっている。横川川が氾濫し高台へ避難する訓練を、6会場に分かれて行っている。中央コミュニティーセンターは水害区域で高台には集会所などない。ハザードマップの特別警戒地域が多く土砂崩れが起きたらどこへ避難すればよいのかわからない。避難所の確保が課題。行政無線は聞き取りにくい、一番良いのは告知システムだと思う。設置している家庭は半数以下と聞いている、無償で全家庭へ支給するべきだ。

⑤宮所区 M氏

防災訓練にスリッパ履きや帽子をかぶらず参加する人がいる。避難時の服装など指導してほしい。防災グッズなどリュックサックで避難する方がいる。そこまでできる訓練が必要だと思う。昼間だけでなく、夜間の防災訓練も必要。

夜間等の防災訓練実施を町へ伝えていきたい。

⑥宮所区 M氏

県の防災訓練で外国籍の方に対しての訓練を行っていた。辰野町でも対応を検討してほしい。

各地域の防災訓練の様子を発言してほしい。

⑦宮木区 区長

17町内で防災訓練を行っている。今年の訓練で出された問題点を、町総代へ伝え改善点の検討を各町内でやってもらっている。町内に防災士がいるので指導してもらっている。

⑧宮木区 M氏

3つのコンセプトで訓練をしている。①意識の高揚②災害時の機材器具の検討③助け合いをどうするか。

北湯舟は高台なので消火栓の不備などあり、町へ要望し貯水池を作ってもらった。平成17年に町内独自の防災隊を組織した。7つの部門に分かれている。現在高齢化のため、町内役員と防災隊を一つにするなど防災組織のあり方を考えている。補助金で購入したテントなどある。防災隊への対応は個人差がある。根気よく続けることが必要。隣り組中心の助け合いに心がけている。

11/11に炊き出し訓練を実施。日赤奉仕団の協力を得て非常時に温かい食事が提供できる訓練は必要。平成13年に床上浸水の被害があった、葦沢の監視を区3役で年3回行っている。

⑨宮木区 漆戸防災士

今年度は小中学校で防災学習夏休みに行った。町の避難訓練で想定されている災害は全て（地震・水害・火災など）だが、絞り込んで実施し、振り返りまで持っていくことが切迫観を上げることにつながると考えている。今年は宮木区34%の参加、切迫感に切り込んでいく訓練が大切だと思う。

町でもおいしい備蓄食料へ転換している。また、おむつや生理用品など備蓄の種類拡大している。要望を伝えてほしいと言っている。備蓄セットの斡旋販売を年度内に行う。今年度は1000セット？9000円のを3000円で販売するようだ。必要な方は購入してほしい。

⑩今村区 T氏

今年度は小中学校で防災学習夏休みに行った。町の避難訓練で想定されている災害は全て（地震・水害・火災など）だが、絞り込んで実施し、振り返りまで持っていくことが切迫観を上げることにつながると考えている。今年は宮木区34%の参加、切迫感に切り込んでいく訓練が大切だと思う。

個人情報の扱いが厳しくなっている。担当課に確認していきたい。

①赤羽区 有賀防災士

個人情報には種類 3 つある。辰野町は「住民参加型手あげ方式」自分たちの組の中ならわかるので、聞き取りは構わないが勝手に記載しない。

崩落危険箇所について

②沢底区 Y氏

それぞれの集落で検討していると思う。これからも続けて行ってほしい。「防災の考え方」おきたらどうするかが主流だが、起きる前にどうすべきかも考えないといけない。分けて考えることで物事がすっきりする。防災力を高めることの 3 原則①個人の防災力を高める②地域の防災力を高める③自然の防災力を高めることが必要。何が足りないか整理できる。災害を一緒にくたにするから混乱する。災害別の訓練があって良いと思う。自分のところが何が災害が起きるかおきやすいか考えて検討すべき。町作成の防災マップは役に立たない。防災マップを知っているのか、見て何を感じたか、個々の対応が必要。防災マップの危険のランク付け、どこが危険かど真ん中まちから発信すべき。

③赤羽区 有賀防災士

災害が起きる都、備蓄品の買い占めが起き、日常で必要な人が購入できないなど問題が起きている。ハザードマップを渡すだけでなく、説明し伝えていくことが大切。上流のダムの放流量も気にするべき。岡山県では、避難指示出た時は崩落 4 分前などで、避難ができなかったなど、避難指示等を出す時間も大切。伝えたことと伝ったことが違ってはいけない。確認のチェックができない。視聴覚障がい者への支援が大切。避難所データベースの地域にあった変更が必要。山があれば崩れる。川があれば氾濫する。意識づけが大切。

地域の状況を把握することが大切です。

◎閉会のことば 岩田議長

分科会2 福祉教育常任委員会

○テーマ 「辰野町の医療について考える」

- ・辰野病院の現状について
- ・上伊那医療圏の現状について

(記録：山寺議員)

- 1 日 時 平成30年11月16日(金) 午後7時～8時20分
- 2 場 所 辰野町役場 第2会議室
- 3 参 加 者 住民15名、福祉教育常任委員、事務局

○垣内委員長

辰野病院の現状は今年度4月から院長が変わり、院内では経営改善のための4つのプロジェクトをつくり、病院の改革に努めています。外来患者は減少しているが入院患者の病床率が80%を超え、一時は70%を割る時期もあったがかなり回復してきています。医師もここで4人増え、中には条件付きの医師もいるので医師不足には変わりはありませんが、院長をはじめ町長、事務長は勢力的に医師確保に並々ならぬ努力をしています。結果を信じて期待したいと思います。

本日は病院関係者は出席しておりませんので、きたんのない意見をだしていただきたいと思います。

意見①

今辰野病院は、糖尿病教室を開いています。管理栄養士の講義など予防医療に力を入れ始めてくれている。良いことを始めてくれているのに出席者が少ない、広報が足りなくて町民に周知されていないのでは。又伊那中央病院で行っているちょこっと健診を辰野病院でも500円～やっている。自らの努力で病気にならないようにする良いことを辰野病院も始めてくれているので、多くの町民に広報し周知徹底の努力をしてもらいたい。

質問①

辰野病院だけでは町民の命を守ることば出来ない。病院の連携について議会として調査研究をしたことがあるか、辰野町に住んで安心して暮らせる医療とはどのように考えているかお聞きしたい。

委員長：体制は整っていない、辰野町は諏訪日赤と伊那中央病院があるので何とかやっている。

◎新田先生

今辰野町は、他の市町村に比べて医院は少ない医師も看護婦も医療従事者が少ない、無い無いづくしの町である。しかし不平・不満ばかり言ってもなにも始まらないので、少ない医師で力を合わせて、みんなで協力しあい患者さんをみようという体制をとってもいる。

辰野病院もこのところ患者さんの満足度を高めるいろんな方法を考えているし、いろいろな面で改善されてきている。

今上伊那は4つの病院、伊那中央病院、駒ヶ根昭和伊南病院、辰野病院、生協病院と開業医が連携をとりながら4つの医療圏をつくる話がまとまりつつあるところです。それに辰野は諏訪日赤、岡谷病院もあるので皆さん失望しないで期待してもらいたい。

意見②

開業医の先生や薬剤師さんはお忙しい中を出席して下さっているのに、辰野病院の関係者はどなたも出席されていないのは残念。

委員長：辰野病院の医院長も事務長も今日の議会報告会のことは知っているが、出席はお断りした。病院側が出席して答えてしまうと議会報告会というより病院の説明会になってしまう、一度議会が聞いた上で委員会を通して病院側に伝えたいという思いがあるからです。

意見③

辰野病院は変わってきている。いい方向に向かっている。病院従事者の方々は非常に一生懸命取り組んでいる。住民は辰野病院を信頼し、個人の医院の先生方を尊敬しなければならない。しかし一つだけ分からないのは、他の市町村には開業医の先生方が増えるのに辰野町には何故開業医が来れないのか、議会で調べてみる必要があるのでは。

意見④

高齢者になると病気やケガが多くなる。辰野病院には診てくれる先生がいないと思っている人が多い、伊那中央病院や岡谷病院、諏訪日赤に行っている高齢者がいるがそこまで行く手段に苦慮している。又住民検診後の再検査はなるべく辰野病院でしていただく体制を考えていただきたい。

意見⑤

自分が病気になった時、家族が病気になった時、病院を選ぶのに病院はどうあるべきかというビジョンを出してもらいたい、目先の病にどう対応するか、これからの医療の体制を整えていくことが大切だと思います。

◎古村先生

辰野町に帰ってきて6年になります。救急の体制は都会に比べれば辰野の状況は決して悪くない。諏訪日赤に30分、伊那中央病院に30で行かれるのだから。

◎林薬剤師

薬剤師も足りない、高齢化が進み医者と一緒に大変、しかし相談に乗ってくれる薬剤師は医者を探すくらい大切。

質問②

救急の患者が出た場合、以前奉仕団では0266-41-0119へ電話するように教えてもらったが、今はどうなっているか。

司会：広域になったので119番が良い。